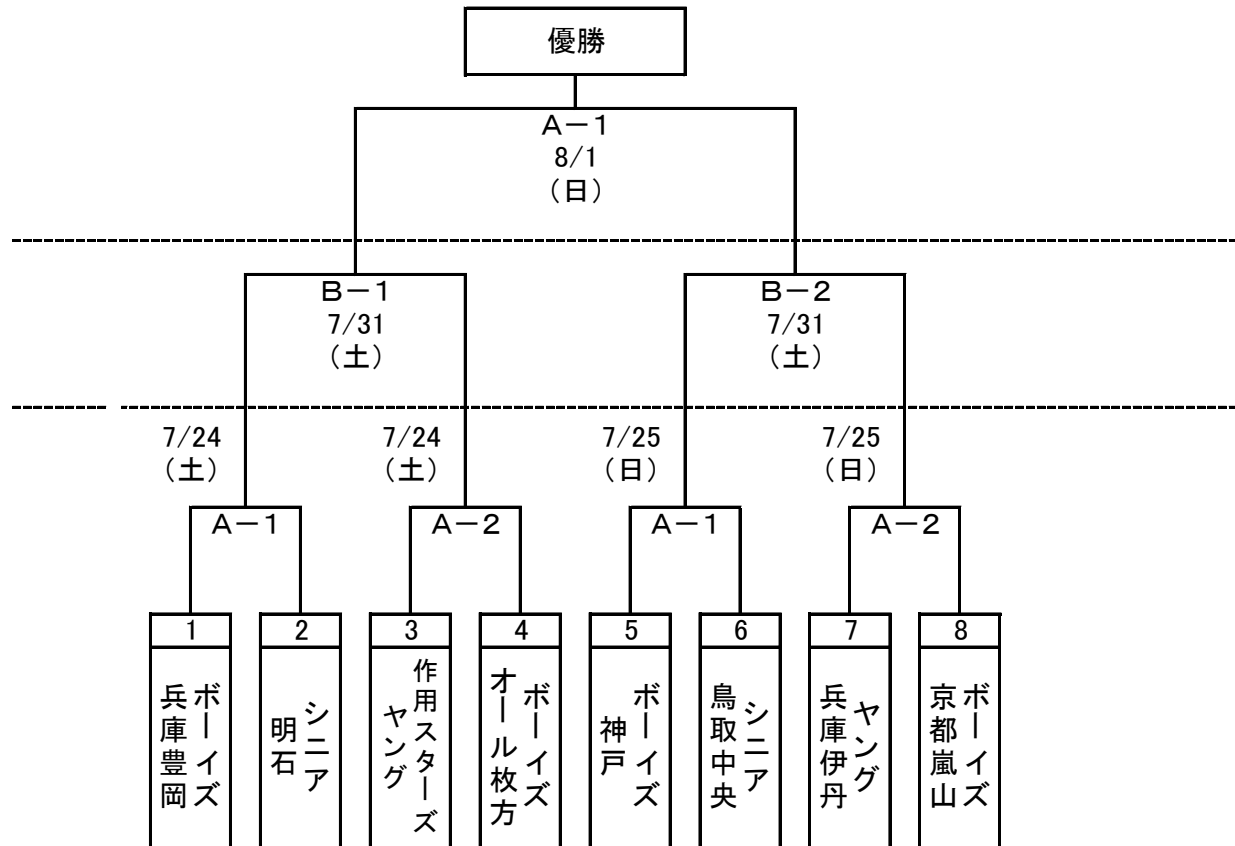


組み合わせ

参加チーム数	
ボーイズリーグ	4
シニアリーグ	2
ヤングリーグ	2

記号	会場名
A	こうのとり球場
B	出石球場
予備日 8月7日(土) こうのとり球場	



時刻表

日程	試合会場	こうのとり球場			
7 月 2 4 日 (土)	球場記号	A			
	第1試合	10:00~12:00			
	第2試合	13:30~15:30			

日程	試合会場	こうのとり球場			
7 月 2 5 日 (日)	球場記号	A			
	第1試合	10:00~12:00			
	第2試合	13:30~15:30			

日程	試合会場	出石球場			
7 月 3 1 日 (土)	球場記号	B			
	第1試合	10:00~12:00			
	第2試合	13:30~15:30			

日程	試合会場	こうのとり球場			
8 月 1 日 (日)	球場記号	A			
	第1試合	9:30~11:30			
	閉会式	11:45~			

日程	試合会場	こうのとり球場			
8 月 7 日 予備日 (土)	球場記号	A			

中学生 リーグ親善 但馬交流大会 試合規定

1. 選手登録は1チーム11名以上、25名以内とする。
2. 出場選手は令和3年4月1日現在、登録済みの者に限る。
3. 審査証は令和3年発行のものとする。
4. 登録選手及び登録されたチーム責任者（代表またはそれに代わる責任ある者でチーム責任者証を携帯している者）、監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入る。
5. 組み合わせの若番号が1塁側ベンチ、後番号が3塁側ベンチに入る。
ただし、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
6. 監督、コーチ（背番号は規定のもの）は選手と同じユニフォームを着用のこと。
7. 試合開始予定時間の45分前に試合場に到着し、直ちにスターティングメンバー表を3部大会本部に提出しなければならない。なお、スターティングメンバーは、25名以内とし、メンバー表1枚に記入できないときは、2枚に渡り記入したものを本部に提出する。
8. メンバー表交換時に両キャプテンにより先攻、後攻をジャンケンで決める。
9. 試合開始時間までにチームがグラウンドに現れないときには、球審は没収試合を宣言することができる。
10. 試合方式など
 - ①各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は開始から2時間を超えては、新しいイニングには入らないものとする。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、両チームが完了した均等回の総得点で勝敗を決する。ただし、この場合で、均等回の総得点が同点の場合は最終回時点で試合に出場していたメンバー全員の抽選とする。なお、試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - ②4回終了時10点差、5回以降終了時7点差の場合、コールドゲームとする。
 - ③7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回（決勝戦は10回）あるいは、試合開始から2時間（決勝戦は2時間20分）を越えては（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）
11.
 - （1）投手は同一日小学生の部は6回、中学生の部は7回以上投球することができない。
 - （2）ダブルヘッダーでは連投を認めるが、投球回数を7回以内とする。例えば、1試合目で5回投げた場合には、次ぎの試合で2回投げることができる。
ただし、端数回数（0/3回・1・3回・2/3回）は切り上げて1回とする。
端数回数の0/3回は、新しいイニングに入って一死もとらずに降板した場合を示す。
12. 攻守で監督およびコーチの指示、伝達は1試合で各2回の計4回を限度とする。延長に入った場合は、1回の指示、伝達を認める。（選手の怪我や交代などは回数をカウントしない。）
守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。また、指示、伝達は審判がタイムを宣告してから「30秒以内」とする。
13. 監督、コーチおよび選手は、審判の判定に対して、絶対に服従し、抗議することを禁止する。ただし、規則上の疑義申し出については、監督またはチームキャプテン、問題の当事者のみが審判に説明を求めることができる。この場合は「3分以内」に規制する。
14. 監督又はコーチが選手にアドバイスする時は、マウンドに駆け足で行き、行うこと。
15. ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また、打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
16. 投手は走者をアウトにする意思がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるために禁止する。
17. ヘルメットを1チーム7個同色で完全なものを備えること。
18. ユニフォーム、バット、ボール、スパイク、グラブ等は指定業者のものに限る。
19. 捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
20. グラウンドの都合で、大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
21. ベンチ内で携帯電話の使用を禁止する。

22. 光化学スモッグ発生の場合、試合及び選手に対する処置は別に定め、運営委員の指示に従うこと。
23. 試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
24. 試合会場にブルペンがある場合、当該試合の控えの投手捕手1組のみが使用できるものとし、次試合の選手が使用することは禁止する。
25. 投手の投球制限については、「中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン」を適用する。

【タイブレーク実施細則】

(1) 特別規則

(イ) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を越えて(いずれか早い方)決勝戦は10回あるいは2時間20分を越えて(いずれか早い方)、両チーム得点相等しいとき、以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次ぎの打者の者とする。

(ハ) この場合の打者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。

(ニ) この場合の代打および代走は認められる。

(2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはならない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁死、得点、残塁などは記録とする。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などは全て記録する。

以上

「中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン」の適用例

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	第七日目	第八日目	第九日目	第十日目	備考
投手A	7	3	休	4	1	7	休	0	7	0	二日目は上限3イニングまで。三日目と七日目は投手・捕手として出場できない。
投手B	2	3	2	3	3	休	2	3	2	0	四日目と五日目の合計が5イニングを超えたため、六日目は投手・捕手として出場できない。
投手C	3	3	休	3	2	3	1	3	3	休	一と二、八と九の合計は、いずれも5イニングを超えたため、それぞれ、三日目と十日目は投手・捕手として出場できない。
投手D	7	0	0	2 2	休	5	5	休	4	0	二、三日目は登板なし。四日目にダブルヘッダーで両試合に登板したため、五日目は投手・捕手として出場できない。
投手E	2	3 0	0 2	2	4	休	5	5	休	2	二、三日目はチームがダブルヘッダーでの試合であったが、片方の試合のみ登板のため、翌日の制限はなし。四、五日目及び七、八日目はいずれも二日間の合計が5イニングを超えているので翌日は投手・捕手としては出場できない。
投手F	4	1	4	1	3	2	3	2	3	2	連続した2日間で5イニングを超えている日はない。
投手G	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

※数字は登板イニング数。「休」は投手・捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

【1】大会規定の準用について
大会規定を以下のように変更する。

1. 選手登録は1チーム11名以上、25名以内とする。



1. 選手登録は1チーム9名以上、25名以内とする。また、連合チームでの参加を認める。

【2】諸注意

①大会開催にあたり、決勝以外の試合について、各チーム1名の審判員（塁審）をお願いします。

②大会開催にあたり、決勝以外の試合については、アナウンスのご協力をお願いします。

③大会期間中、会場での喫煙は、所定の場所で行って下さい。

④試合前のアップ等については、会場敷地内とします。本部まで、事前にお問合せ下さい。

⑤大会期間中、出されたごみ等は、各チームで責任を持って処分をお願いします。

⑥大会期間中の怪我については、応急対応は致しますが、各チームのスポーツ保険の範囲内での対応をお願いします。

⑦移動に伴う車両の駐車については、各会場の指定場所に駐車をお願いします。

当日、到着時に本部へお尋ね下さい。

⑧宿泊等をご希望のチームがありましたら、宿泊施設の斡旋、予約を承ります。

⑨天候判断は、主管チームで事前に行い、速やかにご連絡を致しますが、その他の点については、不明であれば、本部までご連絡願います。

⑩この大会は、リーグの枠を超えた交流を目的としておりますが、各リーグでの対外試合許可の申請がリーグ内で必要であれば、各チームでの対応をお願いいたします。

⑪優勝、準優勝チームには、賞状並びに優勝杯、準優勝盾を用意しております。

各回ごとのとりきりとなります。

野球用具の審査、登録役員、指導者の審査並びに選手の審査は行いませんので、各チーム内で中学生らしい品格を確保頂きますようお願い致します。また、野球道具の安全性に関わる事項は、各チームにて責任を持って対処して頂きますようお願い致します。

⑭大会期間中の昼食(お弁当)については、注文書を添付しています。ご希望があれば、申込書に従って、ご注文下さい。

『弁当依頼書』

1. 貴チーム名:

2. 連絡者氏名:

携帯電話

3. 弁当依頼書

弁当 依頼日	有無を ○で囲む	弁当個数			合計
		選手	指導者	保護者	
7/24(土)	有 無				

◆700円/個

試合会場名

弁当 依頼日	有無を ○で囲む	弁当個数			合計
		選手	指導者	保護者	
7/25(日)	有 無				

◆700円/個

試合会場名

※7月25日以降の弁当については、各球場にて直接依頼願います。

4. 申込み締切

◆7月21日(水)

※予約の都合が有りますので締切を厳守願います。

5. 申込み先

中学生リーグ親善但馬交流大会

携帯 080-5310-6960

大会行事副委員長 三谷 佳美

メールアドレス azukibububu@gmail.com